



SAKAIGI JHS

境木中学校学校だより 2020th

令和2年12月25日



横浜市立境木中学校
校長 岡本 実浩

〒244-0802 横浜市戸塚区平戸 3-48-2 TEL 045-822-8626 Fax 045-826-3826

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sakaigi/>

《学校教育目標》

社会とつながり、主体的に学び続け、未来を創る力を育みます。

今年の「新語・流行語大賞」は『3密（3つの密）』で、
「今年の漢字」は『密』です

校長 岡本 実浩

冬至の候、日頃から保護者の皆様、境木中学校近隣の地域の皆様には、ご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年〔令和2年（2020年）〕もあと残すところ今日を入れて一週間（7日）となりました。振り返ってみると新型コロナウイルス感染症のため、いろいろなことがあった1年間だったと思います。これからも今までにない大変な面を多く含んでいる案件ですが、情報を正確に把握しながら、今後に生かしていきたいものです。

そこで、今年（2020年）を振り返ってみる意味で、今年の「新語・流行語大賞」に注目してみました。今年の「新語・流行語大賞」の年間大賞は『3密（3つの密）』でした。この『3密』とは、感染リスクの高い三つの状況「密閉」「密集」「密接」を避けるよう厚生労働省により呼びかけられたもので、確かに本校でも感染防止を目的とする新概念・新習慣となりました。また、2020年の世相を1字で表す「今年の漢字」（日本漢字能力検定協会）も「密」と発表されました。こう考えてみると2020年はコロナのことがどうしても話題になってしまいます。実は「新語・流行語大賞」30選や「今年の漢字」候補の中にも新型コロナウイルス感染症に関係しているものが多くあり、やはり今年を振り返っていく上で話題になってしまうものだったと改めて感じました。来年は収束していくことを願うばかりです。

ところで、先月3年生の“主張大会”については11月の学校だよりでお知らせしましたが、今月は4日（金）の午前中の1, 2校時に1年生の、3, 4校時に2年生の主張大会が行われました。コロナ禍の関係でTV放送で行われましたが、“さすが学級代表”といった発表ばかりで本校の伝統行事として受け継いでくれている姿に感心しました。今回、私は視聴覚室で審査をしていたため、教室で聞いている生徒の様子を見ることができませんでした。しかしながら、きっと仲間を支える取組をしてくれていたと思います。講評でも話をしましたが、次年度に向けて、また素晴らしい主張大会になるよう生徒個々に今から準備していただきたいと思います。

また、今年も境木中学校の教育活動に、ご理解・ご協力いただきありがとうございました。過ごしやすい新年に、そして、より良い年になりますように。



折り紙のクリスマスリース

（齋藤靖子教諭作。ステップアップルーム前に展示。）

令和2年度 学校保健委員会報告

11月30日 図書室にて

今年度のテーマ 『新しい学校生活 ～今、私たちにできること～』

学校保健委員会は、境木中学校のみなさんが「健康的で楽しくいきいきとした毎日過ごすためには、何が大切か」を考える会です。今年度は参加人数を半数に減らし、学校薬剤師の佐藤礼子先生、戸塚区福祉保健センターの内田裕美さんを講師に迎え、生徒（保健委員・生徒会役員）、PTA、先生方、それぞれの代表が集まりました。

境木中学校の全校生徒を対象に10月に行った、アンケート結果をもとに、「昼食時の様子」「朝の健康観察」「タイミングごとの手洗い」について話し合いました。「週2回のハンカチ調べ」や「朝の健康観察の紹介」など、今回話し合われた内容を、保健委員会等の活動に取り入れていきます。



保健委員 1年4組 川原 小葵

班で話し合いをおこなって、違う学年の人とも意見を出し合いながら、真剣に考えることが出来ました。今回のアンケート結果から改善すべきところを見つけて、よりよくするためにたくさんの案を出せたと思います。手洗いについては、講師の内田さんが言っていたように、手を洗う理由をよく考えて、行動するべきだと思いました。講師の方たちが改善策や対策の大切さなども教えてくれたので、それをしっかり頭に入れて頑張っていきたいです。

言語能力の育成

1・2年 学年主張大会

言語を通して人と関わり、他者の価値観を理解する

12月4日（金）、1・2年が学年主張大会を行いました。コロナ禍、安全に配慮して、1・2年生は体育館ではなく、視聴覚室からのテレビ放送で開催しました。1・2年主張テーマは「中学校生活で学んだことについて」です。これまでの中学校生活を振り返り、日頃思っていることや考えていることを文章にまとめ、学級の代表が発表しました。自分の考えを伝えること、また、多くの人の主張に触れ、広い見識を培うこと、発表の場を通して、聞き方や発表の仕方などを学ぶことができました。

1・2年主張テーマ 『中学校生活で学んだことについて』

<2年 学年主張大会発表者>

<1年 学年主張大会発表者>

NO	組	生徒氏名	タイトル
1	2	藤原 葵	部活を通して学んだこと
2	3	秋元 紬希	自分の意見を言う
3	6	相馬 慧太	自分の部屋の掃除
4	1	早川 峻平	失敗すること
5	2	安原 葵	新しい「当たり前」について
6	4	住井 楓香	間違いを恐れない
7	1	丹野 杏純	「自分らしさ」に向き合う
8	3	鶴見 祐輔	人との意見の違い
9	1	羽柴 里亜奈	私は今を全力で楽しむことにした
10	2	藤原 菜帆	立ち向かうこと
11	4	長田 実咲	変われ！！自分！！
12	3	村谷 真陽琉	後悔で終わらせないためには
13	4	岸 柚花	人と関わる

NO	組	生徒氏名	タイトル
1	2	奥谷 奈央	言葉の持つ力
2	1	中山 美世	私たちが選択できる学習環境へ
3	1	柳生 祐希	自分で建てた家に住む
4	3	下地 留加	美術部の役目
5	4	竹山 大路	不登校は悪くない
6	5	藤崎 心晴	いつまでもねているパソコン
7	6	出口 遥太	中学生になって気付いたこと
8	2	小田島 美月	未来のために
9	4	川原 小葵	歌の力
10	5	田中 露子	誰もが個性を活かし笑顔で暮らせる世界へ
11	3	山本 権翔	なりたくてなっているわけではないのに…

部活動を通して学んだこと【第3弾】

「部活動を通して学んだこと」第3弾。ラストを飾るのは、マルチメディア部です。9月に活動を再開し、1年生も入部しました。例年、10月の文化祭での動画発表をするところ、コロナ禍で縮小・延期されました。12月を目標に活動してきた3年生にこれまでを振り返り、記してもらいました。

「部活動を通して学んだこと」

マルチメディア部 3年2組 大濱 慧悟

僕は、この部活動を通して想像力が豊かになりました。動画制作を通して、動画の内容や撮影した動画はどう編集するのかを考え、良い作品ができたので、想像力が育ったかなと思います。そして、僕がこの部活動で学んだ事は、何事も一人でやらず、みんなで協力すればよい結果になるということです。

部員が少ない状況の中で、後輩たちと一緒にいい作品を作ろうとみんなで協力し、努力して作品を完成させたのはよい思い出です。

言語能力の育成

中学生の税についての作文

物事を多面的・多角的にとらえる

戸塚納税貯蓄組合連合会 優秀賞受賞

「ふるさと納税」への正しい理解

3年4組 中澤 優

「今年はふるさと納税、どうする？」父と母のこのような会話をここ数年耳にします。税金というと、今までは消費税以外に身近に感じたものはありませんでした。しかし、毎年、僕の好きなカニが食べられる、このふるさと納税はどのような税なのか、興味を持ったので、調べてみることにしました。

ふるさと納税は、自分が払う住民税は自分の故郷に納めたいという思いを実現する仕組みとして2008年から始まりました。この制度で納税できるのは、生まれ育った街に限らず、自分が応援したい町を選ぶことができます。厳密にいうと、納税ではなく寄付金という扱いになり、寄付をした町からはお礼の品を受け取ることができるお得な制度として注目されるようになりました。また、ふるさと納税は、寄付金に対して納税控除が適用され、寄付した金額だけ現住所に納める住民税が少なくなるという仕組みになっています。簡単にいうと、僕たちの住む町に入るはずの住民税が減り、寄付をした町の収入となるということです。ちなみに、僕の住む横浜市では、ふるさと納税の影響で流出する住民税の金額（税額控除額）が、2019年度では、136億円にも及ぶことがわかりました。つまり、これは、自分が住んでいる地域の「福祉」や「教育」などのサービスが、税収不足により低下する恐れがあることを意味します。また、同じ都市部に住む人の中にも不平等が生じます。ふるさと納税を利用する住民は利用しない人と同じ税金を払っても、返礼品の分だけ得をします。もし税収不足で公共サービスがなくなった場合、この影響はふるさと納税を利用していない住民にも及ぶことになってしまうのです。つまり、ふるさと納税を利用しない住民は、損をすることがあっても得をすることはなく、ということになります。しかし、この仕組みの悪い部分はテレビなどではほとんど取り上げられていません。そのため、「利用しないと損」という認識しかねない人も多いただろうと感じました。

ただ、ふるさと納税には良い面もあります。日本各地の災害の復興支援として、返礼品をもらわず寄付する人がたくさんいたり、返礼品をきっかけにヒット商品を生み出す町があったりします。

ふるさと納税について調べてみて、「得をする」という視点だけで見てはいけないと思いました。問題点についても十分に理解した上で、責任をもって寄付することが重要だと思いました。そして、一定の人だけが得をするのではなく、寄付をする地域、される地域に住む人々が、納得のいく制度に改善していく必要もあると思いました。

僕の毎年の楽しみでもあるカニ。目先の利益より、自分の住む町の未来を考えるべきか。今年はこのことについて、家族と話し合ってみようと思いました。

生徒会 自動販売機の設置に向けて

生徒会長 3年2組 芳賀彩加里

12月8日から自販機の利用が始まりました。自販機を設置するにあたり、生徒会では委員長会で、生徒全員が「安心・安全」に利用できるようにするため、購入時間や貴重品の確保などのルールを検討しました。また、自販機を正しく利用するために、利用方法を映像にまとめて放送朝会で流しました。

時間をかけ、ようやく設置された自販機です。みんなが決めたルールをしっかりと守って、丁寧に利用していきましょう。



美術部が制作したPOPが自動販売機に貼られています
(生徒会発「安心・安全」に利用するためのルール)

図書委員会 「ベストリーダー賞」

6月～11月の間、図書室での本の貸し出し数の多かった生徒の皆さんに「ベストリーダー賞」が図書委員会より贈られました。新年、図書委員のおすすめ本や新刊本を手にとってみたくありませんか。

ベストリーダー賞 (1位～10位)

1位	56冊	平戸 快尚さん (3年3組)
2位	44冊	宮本 隼人さん (3年6組)
2位	44冊	上田 朱雀さん (1年3組)
4位	43冊	林 晃輝さん (1年3組)
5位	42冊	相馬 慧太さん (2年6組)
6位	37冊	増田 朱音さん (3年1組)
7位	33冊	寺沢 優奈さん (1年5組)
8位	28冊	大平 隆史さん (3年6組)
9位	27冊	佐々木 煌さん (1年1組)
10位	23冊	額賀 恵さん (2年4組)



ベストリーダー賞 (11位～20位)

11位	21冊	小野 一葉さん (3年4組)
11位	21冊	中山 莉央さん (2年2組)
13位	20冊	宇都宮 葵さん (2年1組)
13位	20冊	栗原 佐弥さん (2年1組)
13位	20冊	中川 桃嘉さん (2年4組)
13位	20冊	山本 丈さん (2年6組)
13位	20冊	齋藤 真桜さん (1年5組)
18位	18冊	内田 光輝さん (3年3組)
18位	18冊	岸本 桜空さん (2年3組)
20位	17冊	平野 歩さん (1年1組)

頑張る境中生!

◆中学生の税についての作文

戸塚納税貯蓄組合連合会 優秀賞受賞
3年4組 中澤 優さん

◆横浜市体育活動優秀生徒

3年4組 福井 柊哉さん
3年3組 中井未奈美さん

◆野球部

横浜市秋季大会 ベスト8
ベイ・イヤーズ大会 優勝

◆バドミントン部

【男子】個人戦 保土ヶ谷区大会

ダブルス 優勝 鶴見祐輔さん・内田悠大さんペア

ダブルス 準優勝 清藤巧哉さん・温井雅也さんペア

ダブルス 3位 竹田勝飛さん・横山 祐さんペア

【女子】個人戦 保土ヶ谷区大会

ダブルス 優勝 村谷真陽琉さん・福嶋香澄さんペア

ダブルス 3位 呉屋恵梨香さん・佐藤優衣さんペア

シングルス 3位 井上 里愛さん



1月の主な予定

完全下校は17時です

卒業式の日程をお知らせします。
令和3年3月11日(木)

★12月27日～1月5日 冬季休業

6日(水) 校内書初め展(～22日)

8日(金) 各種委員会・委員長会

9日(土) 中央階段の業者ワックス掛け(1～3階)

13日(水) シャッター点検

14日(木) 防災点検

18日(月) 朝会(標準服登校)

19日(火) 文化祭実行委員会

23～24日 普通教室 業者ワックス掛け

25日(月) 3年共通選抜出願(郵送)

26日(火) 6組市合同学芸会

2年職業講話

28日(木) 3年共通選抜募集期間

(～2月1日)

29日(金) 3年学年末試験(標準服登校)

